

ウェアリスト-Where list -

行きたい所グループ共有アプリ

目的・背景

●開発理由・目的

- ・どこに行こうかと話題になった時にグーグルや食べログを見比べる等の探す手間を省くため。
- ・利用者の地元や日本の魅力の再発見。身近な地域やコミュニティの活性。

●背景

- ・気になったご飯屋さんを忘れずに簡単に共有できたら便利だという声から、このアプリを制作しました。
- ・既存のサービスでは保存や共有の手間が多く、情報が分散してしまう不便さを感じたのが背景です。

ターゲットユーザー

- ・地元や近所の友人やカップル
- ・身近な人(家族や同僚、趣味仲間等)

職場等の共通の地域のあるコミュニティや知り合い。

旅行や共通の趣味の仲間と。

ex) 国内外問わず旅行先、飲み屋、デート先、サウナや銭湯、etc...

システム内容

どんなことができるか。

1. 行きたい・行った場所をエリアやカテゴリで整理

「行きたいリスト」は距離やエリア別に分類し保存でき、目的や気分に応じて選びやすくなっています。

訪問後は「行ったリスト」として評価やコメントを付けて記録でき、思い出の振り返りや再訪の参考にもなります。

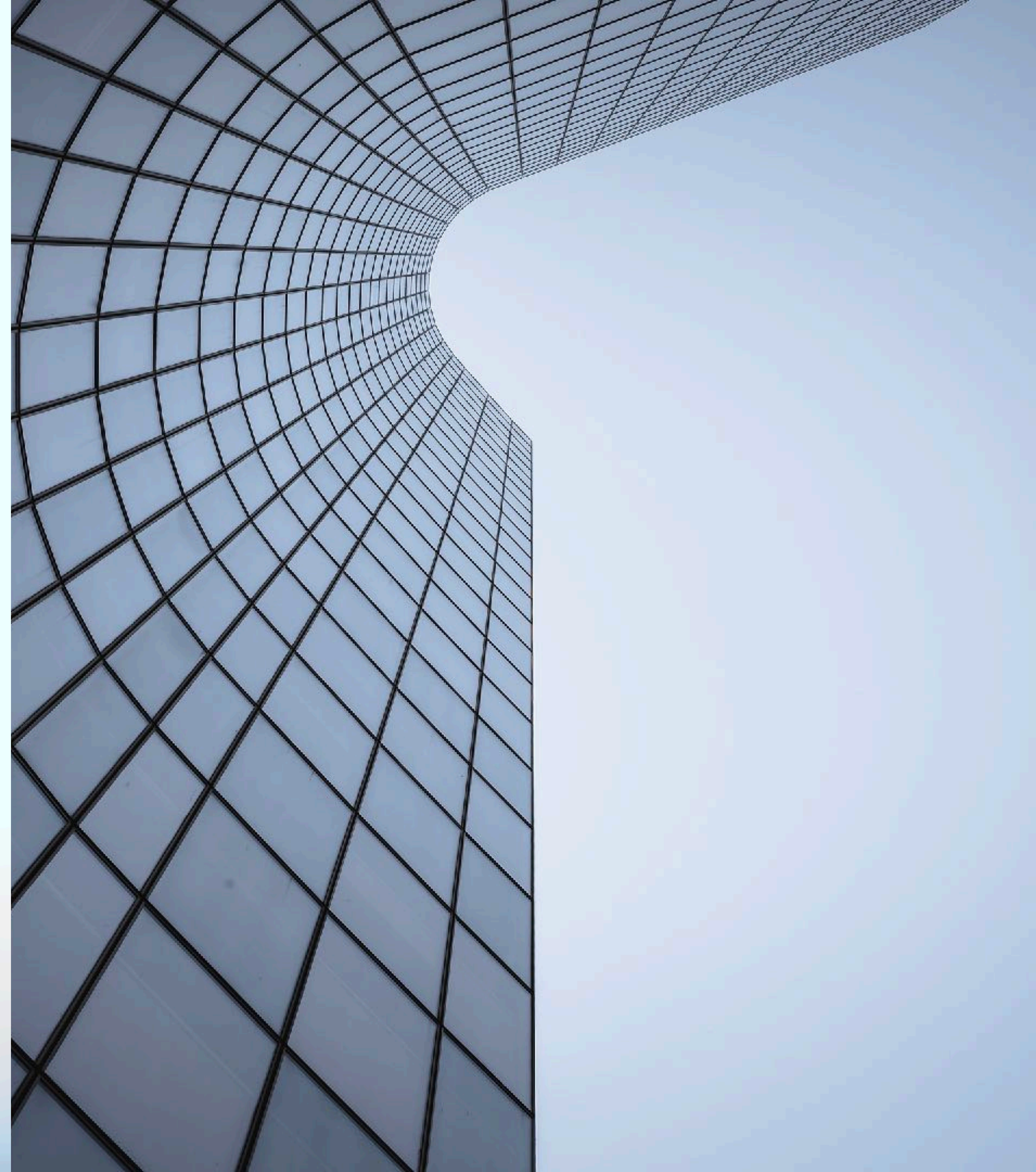
2. グループ機能によるリアルな口コミの共有

ユーザー自身がグループを作成でき、友人や家族など身近な人とだけで場所情報を共有できます。

行った場所の評価やコメントは信頼性が高く、ネット上のレビューよりも参考にしやすい設計です。

デモ

<http://localhost:8080/login>



システムの売り

プライベート共有、行きたいところリスト

このアプリの大きな特徴は、Googleや食べログのように不特定多数に向けた情報発信ではなく、「特定のグループ内で信頼できる情報を共有する」ことに特化している点です。

行きたい場所のリストには、URLやメモを自由に貼り付けられるだけでなく、訪問後は自分やグループ向けにリアルな評価を残せるため、サクラやPRの影響を受けません。

また、エリアの分け方も自由に設定でき、飲食店に限らず、旅行先やデートスポットなど多様な場所に対応可能です。

他人に見せるためではなく、自分たちのための「プライベートな共有の場」として活用できるのが、このシステムの強みです。

不足機能、展望

- ・グループ招待、共有機能
- ・ユーザー別の評価やコメント
- ・マップ機能(現在店舗リンクのみ)
- ・通知機能
- ・距離や用途以外でのソート機能、高度検索機能（「カテゴリ × 評価 × エリア」など）

～今後の展望～

マルチデバイス化や多言語化し、他アプリとの連携していくことでよりユーザーの需要に応えられるものにしていきたい。

感想

日常会話から生まれた需要を、アプリという形に落とし込んでいく過程がとても楽しかったです。

これまでのカリキュラムとは違い、1から自分で考えて制作することで、目的設定や他アプリとの差別化、今後の展望まで意識する必要があり、調べることも多く、明確なゴールがない分、より強く期限を意識して取り組むことができました。

当初は自分の技術や想像の範囲で収まると思っていましたが、実際には予定通りに進まないことも多く、画面や機能の追加などもあり、想定通りにいったのは半分以下だったと思います。

特にデータベース設計やログイン機能の実装に関しては、事前の想定が甘かったと実感しました。